

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2020年 2月 20日

事業所名：こどもプラス三木

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	1階と2階にわけ、状況に応じて活動やクールダウンができるように使い分けている。	はい20 どちらともいえない1	少し狭く感じるという意見もあったので、より適切な使い方を工夫していく。
	2 職員の適切な配置	定員に応じた配置だけではなく、安全に留意した配置を行えるように努めている。	はい19 どちらともいえない1 わからない3	わからないという意見があったので、ニーズに応じて説明を行うようにする。新しく入った職員の名前がわからないという意見もあるので、HPで自己紹介などを更新できるようにする。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要な個所に視覚支援を行える写真や目印を追加したり、動きやすい動線を確保するようにしている。	はい15 どちらともいえない4 いいえ1 わからない3	最近の施設内を見ていないという意見があるので、ブログで報告や見学を行って頂けるようにする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	運動室の安全の確保、各所の消毒を徹底して行っている。おもちゃの破損状況なども日々確認を行うようにしている。	はい22 どちらともいえない1	最近の様子を見ていないのでわからないという意見があるので、見学やブログでの告知を行うようにする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	1か月に1回のミーティングや、日々の業務前の時間を利用して行うようにしている。	/	今までと同様にご家族からのご意見を積極的に取り入れるようにして運営を行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価機関を利用することはできていないが、近隣の施設や関係者と話をしながら業務を見直すことを行っている。	/	今後も同様に運営していき、必要があれば評価機関の利用も視野に入れていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	運動内容や施設運営、子どもの特性など、毎月違う2つのテーマで研修を行っている。	/	今後も同様に研修を行っていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	1年の更新と半年の見直しを行う上で、聞き取りや事業所間での会議を十分に行うようにしている。	はい21 どちらともいえない2	今後も聞き取り方法の見直しや連携の強化などでニーズに合った支援計画の作成を行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	ニーズに合わせて、日常生活や集団生活への支援に繋がる計画を立てるようにしている。		引き続き日常の様子を踏まえながらバランスよく必要な計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	聞き取りや日頃の様子をもとに、具体的に理解しやすい項目を設定するようにしている。		引き続き、具体的に理解しやすい支援計画を作成するようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日常的に支援計画記録や職員間での共有を行うことにより、目標達成へ向けて支援を行っている。	はい21 どちらともいえない2	引き続き、よりよい支援を行えるように努めていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	ミーティング内で、情報共有や活動の提案を行う時間を設けるようにしている。		引き続き、施設内外で多彩な活動を行えるように、職員と話し合い様々な意見を取り入れるようにしていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇や土曜日などは時間が長い為、午前と午後でプログラムを行うようにしている。	はい17 いいえ1 わからない5	平日の内容がわからないとの意見があるため、ブログや連絡帳を通し見てもらえるよう取り組む。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	運動あそびを中心に、日常の体験を大切にしたいプログラムを提供するように心がけている。出かける時間がある時は、積極的に施設外で活動を行うように計画をしている。		内容がわからない、ブログの更新がないので活動していても外部にわからないのもったいないという意見があったので、告知や更新を行い見てもらえるようにする。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	1日の役割分担をホワイトボードで共有し、送迎前にはボードをもとに口頭でも情報共有を行う。		引き続き情報共有や役割の分担を通じて質のよい安全な支援を心掛ける。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	その日の伝達板や送迎前後の会話で共有をしている。1日の活動を記録に残すことでも共有を行える体制をとっている。		引き続き今の方法で運営を行う。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	業務終わりに日報や支援の内容を記録しており、必要に応じてインシデント報告等も記録を行っている。		引き続き記録を行っていく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	法定の期間に則り聞き取り及び更新を行っている。職員間で会議を行い内容を決定している。		引き続き今の方法で計画を作成する。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者を中心に出席をしている。状況に応じて2名で参加することもある。		引き続き今の体制で運営を行う。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	利用契約の際、聞き取りシートや可能であれば発達検査等の記録を事業所におけるようにしている。		引き続き、新規利用の際の情報共有を行えるように努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	ご家族からの要請などの状況に応じて必要な情報を提供できるよう、記録を保管するようにしている。		引き続き今の体制で運営を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	時間に限りがあるため必ずとはいえないが、県主導の研修や専門機関開催の研修に積極的に参加できるようにしている。		引き続き、研修への参加を続けていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	保育所や学校との連携は行っていないが、外出の際に公園や外出先で会う人々や子どもと交流を持てるように支援している。		ニーズに応じて、施設等での交流の場を設けることも視野に入れていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	その日の状況や、行事の日が日曜である等の理由で行事への積極的な参加は行っていないが、自治会への参加や近隣の公園を利用するなどして、住民の方々と交流を持てるようにしている。	よい8 どちらともいえない2 いいえ2 わからない1	今ある交流だけではなく、無理のない範囲で地域の行事への参加も視野に入れていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に一通り説明を行うようにし、利用先が増える等で変更があれば随時説明を行うようにしている。	はい20 どちらともいえない1	引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書に署名を頂く際には必ず口頭で説明を行い、写しを家庭で保管して頂くようにしている。	はい20 どちらともいえない3	十分な時間が確保できない時は渡すだけになってしまうこともあるため、可能な限り十分な説明を行えるように努めている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	聞き取り時やサービス支援者会議において、相談事に対してアドバイスを行うようにしている。	はい15 どちらともいえない1 いいえ2 わからない	個別で相談などに対応しているが、ペアレントトレーニングとして行ってはいない。多数のニーズがあればペアトレの実施も視野に入れる。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時の申し送りを必ず行い、連絡帳や聞き取りの時に情報や支援の方針を共有するようにしている。	はい23	今後も、ご家庭と齟齬がないように共有を行っていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	聞き取りや送迎時に相談があると対応するようにしている。会えないなど、必要があれば電話による連絡も行うようにしている。	はい20 どちらともいえない3	引き続き、相談へ対応ができる体制をとるようにする。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現時点で保護者会は行えていない。講演会等の開催も考えているが、ニーズを調査中である。	はい4 どちらともいえない4 いいえ6 わからない	ご家族や当事者の集まりに参加させて頂くことはあるが、現時点で開催は行っていない。要望があれば開催も考えていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応先や体制を重要事項説明書に記載、及び教室に掲示を行っている。ご意見を頂いたときは、連絡帳と口頭でお話させて頂いている。	はい17 どちらともいえない1 わからない5	引き続き日々様子やご意見を大切に運営を行っていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳に当日の写真を用いてわかりやすいようにしている。連絡帳と合わせて、口頭での確認や必要に応じて記録を残すようにしている。	はい22 どちらともいえない1	引き続き、今の体制で運営を行う。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1度、おたよりを出している。	はい23	概ね好評であるので、作成を続けていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に写真使用や個人情報についての同意書を頂いている。個人情報のある書類は鍵付きの棚に保管している。	はい23	ブログ等もあるので個人情報の取り扱いに気をつける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルはまとめてすぐに見れる場所に置き、職員に周知をしている。非常災害時に関する個別対応シートを保管している。	はい20 わからない3	今後も災害や感染症に関するの最新情報を集めマニュアルの整備を続ける。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回避難訓練を行うようにしている。	はい18 わからない5	性質上、平日に行うことが困難であるが、要望があれば平日に行うことも視野に入れていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルをまとめてあり、本部からの研修も行っている。		現時点で虐待やそれに関する兆候はない。日常的に記録や虐待防止への取り組みを続けていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関する体制・マニュアルと書類を整備している。現時点では身体拘束を行っていない。		今後も同様に運営をしていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーに関しては情報を収集し、おやつを提供する際に一目見てわかるようにしている。ミーティングや日々情報を共有し、誤って提供を行わない体制をとっている。		今後もおやつ等の提供に注意し、情報共有や記録の蓄積を行う。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	インシデント報告書を作成しまとめている。事故報告も含め、すぐに見れる場所に保管し、全職員への回覧も行っている。		今後も記録と共有を行っていく。